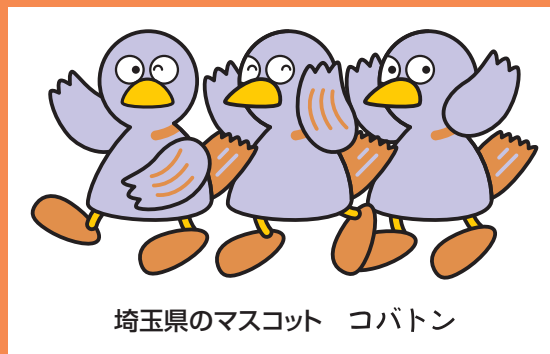


## きらめく感性 つくりだす喜び

～ 未来をひらく授業づくり 「深い学び」の探求 ～

— 〈3年次〉 —



きらめく感性 つくりだす喜び ～ 未来をひらく授業づくり 「深い学び」の探求 ～ 〈3年次〉





# 目 次

挨拶	埼玉県美術教育連盟長 .....	中 川 昇 次	2
	埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事 .....	中 和 馬	3
	さいたま市教育委員会学校教育部指導1課主任指導主事 .....	廣 田 和 人	3
身体障害者福祉のための児童生徒美術展	特別賞作品より .....		4
郷土を描く児童生徒美術展	特別賞作品より .....		8
埼玉県児童生徒美術展中央展（昨年度の受賞作品）	.....		12
造形教育研究大会基調報告	.....		13
地区代表の言葉	.....		17
記録	令和2年度埼玉県美術教育連盟会則 .....		27
	令和2年度埼玉県美術教育連盟役員 .....		28
	令和2年度事業概要 .....		30
埼玉県美術教育連盟の足跡を顧みて	.....		32

※注意…以下の項目については、経費削減のため42号からカットしました。

各項目については総会等の会議でご報告させていただきます。

埼玉県造形教育研究大会のあゆみ

関東甲信越静地区造形教育研究大会のあゆみ

全国造形教育研究大会のあゆみ

身体障害者福祉のための児童生徒美術展

郷土を描く児童生徒美術展

研究大会、美術展等の開催状況と今後の計画

関東甲信越静地区造形教育研究大会 都道府県別開催状況

市町村別学校数

表紙作品

川口市立戸塚小学校 1年 谷山 和香奈

「ハンモックでゆらゆらたのしいな」



## 子どもの思いは変わらない

埼玉県美術教育連盟長 中川 昇 次

令和2年度を締めくくるに当たり、埼玉県美術教育連盟の各事業に多大なるご尽力をいただいた役員の皆様と諸先生方に深くお礼を申し上げます。

さて、今年度を振り返ってみますと、「身体障害者福祉のための埼玉県児童生徒美術展覧会」や「郷土を描く児童生徒美術展」には、例年と変わらぬほどの多くの作品を出品していただきました。また、搬出入や審査などには、多くの先生方にご協力をいただきました。8月に予定していた「埼玉県造形教育研究大会」は、来年度に延期となります。よろしくお祈いします。「埼玉県小・中学校等児童生徒美術展」も、審査会のみで、美術館での展示は叶いませんでした。よい作品が多かっただけにとても残念です。

コロナ禍の中、ほとんどの美術展覧会を、各地から多くの人が集まることを鑑み、実施を見送ることにしました。誠に残念です。その中で、3密を避けた対応を行いながら、例年に近い数の作品に賞を贈ることができました。関係する皆様、無理難題を切り抜けていただき、ありがとうございました。展覧会の中の中央審査会にも、今年も素晴らしい作品が選ばれてきました。子どもの思いは変わっていませんでした。多くの作品に豊かな色使いと表現の工夫が見られました。新しく学習した表現や既習の表現が効果的に使われていました。また、コロナに負けない元気もいただきました。作品に感謝、作品を描いてくれた児童生徒の皆さんに感謝です。また、美連の事業ではありませんが、9月に開催された「[工芸・美術の授業展2020]」では、県内外の多くの先生方の実践発表が見られました。今後、埼玉県の関ブロ実施に向けて、目玉の一つになるものと考えております。今後も多くの皆様のご協力をお願いいたします。

こんな時だからこそ、美連の会員の皆様の協力が大切です。皆様のお力が財産です。今後も、研究主題に基づいた、子どものための授業づくりをいっそう進めていくことが必須です。引き続き、よろしくお願いいたします。

結びに、本連盟の取組に多くのご指導とご協力を賜りました埼玉県教育局、さいたま市教育委員会を始めとする当該地区の教育委員会、主催団体、運営をいただいた皆様に改めて深く感謝を申し上げ、挨拶といたします。



## 継続した実践研究

埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課  
指導主事 中 和 馬

埼玉県美術教育連盟「美連No.44」が刊行されますことを、心からお喜び申し上げます。貴連盟におかれましては、永年にわたり、埼玉県の造形教育の発展のために真摯に取り組まれ、多大な成果をあげられてきましたことに深く敬意を表します。

さて、今年度は対話的な学びや造形遊び、共同してつくりだす活動の制限など、コロナウイルス感染拡大防止のため、学校における図画工作・美術の教育活動にも大きな影響がありました。今後も様々な制約の中で教育活動や学校生活を送ることが想定されています。そのような中、県では「学校再開・通常登校におけるガイドライン」や「ICT教育ガイドライン」を策定し、子供たちの学びを保証する支援を行ってまいりました。また、各中学校においては、令和3年度からの新学習指導要領全面実施に向けて、年間指導計画の作成や題材・教材研究を推進いただいていることと思います。県としては、昨年度の小学校に引き続き、「埼玉県中学校教育課程指導・評価資料」の作成をいたしましたので、中学校における指導と評価の一体化を図るために参考としていただきたいと思いますと考えております。

貴連盟主催の総会の中止や埼玉県造形教育研究大会の延期など、『未来をひらく授業づくり「深い学び」の探求』といった研究テーマに込められた思いを共有する機会が少なくなってしまう中でも、貴連盟を中心に情報を共有いただき、各学校では、コロナウイルス感染拡大防止を図りながら日々の図画工作・美術教育を推進いただいております。今後も先生方の熱い思いにより実践研究が途切れることなく継続されることを期待しております。

結びに、貴連盟の実践研究や事業がますます充実、発展されますことを御祈念申し上げまして挨拶いたします。



## 思いを大切に

さいたま市教育委員会学校教育部指導1課  
主任指導主事 廣 田 和 人

美連会報No.44が刊行されますことに、心からお祝いを申し上げます。また、貴連盟が組織的に継続した教育研究活動を展開され、多大な成果を挙げておりますことに深く敬意を表します。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、予定していた「第62回埼玉県造形教育研究大会」が延期となり大変残念な思いをいたしました。しかし、このような状況下においても各展覧会については、審査会での密を避けたり、出品数を減らしたりするなどの運営の工夫により、無事開催することができました。多くの先生方の御尽力に改めて感謝申し上げます。審査会をとおして感じたことは、「どんな状況でも、子どもたちの作品に込められた思いは変わらない」ということです。子どもたちの作品を見つめてみると、自分なりの表したいことや主題を、試行錯誤しながら思いのままに表現していることが分かります。日頃からこのような子どもたちの思いを受け止め、認めることができる教師でありたいものです。

さて、今年度は小学校において、新学習指導要領が全面実施となりました。図画工作・美術では、資質・能力を育成することがより明確に示されています。子どもたち一人一人の思いを共感的に理解し、「どんな作品ができたのか」だけではなく「どんな力が身に付いたのか」という視点で、授業改善を進めていただきたいと思います。

結びに、貴連盟の活動の成果を広く共有していただき、埼玉県及びさいたま市の図画工作・美術教育の充実を願うとともに、貴連盟のますますの発展を御祈念申し上げ、挨拶いたします。



身体障害者福祉のための児童生徒美術展 特別賞作品より



はなびがいっぱいのゆうえんち  
蓮田・蓮田中央小 1年 阿佐美 翔



あさがおめいろ  
ふじみ野・西小 1年 下田 千鶴



カレーライス  
上里・七本木小 1年 倉林 笑鈴



うきうき！ときめきぱあく  
秩父・南小 1年 篠田 和花



海がひろがるたまご  
寄居・男衾小 2年 木村 侑聖



みどりがいっぱいある  
ミニトマトの森  
東松山・高坂小 2年 岡野 蒼右



なかよし ソウマザウルス  
さいたま・城北小 2年 関根 颯真



せみのしずかのいえ  
上里・賀美小 2年 小松 葵



いけ！リコーダーにのってうちゅうへレッツゴー！  
蕨・西小 3年 飯塚 駿



ふでばこと7人の子と犬はだいぼうけん  
鴻巣・田間宮小 3年 志村 千佳



とびたて、おことロケット！  
行田・南河原小 3年 加瀬田大和



ゆかいなお花の子どもパーク  
さいたま・木崎小 3年 高德 結生





ほうせき山のぼうけん  
熊谷・別府小 4年 上野 桃子



夕方にかあられない特別な木  
美里・東児玉小 4年 関根明香里



子を守るにわとり  
鴻巣・赤見台第一小 4年 奥 翔太郎



さわやかな朝に鳥達といっしょの木  
さいたま・本太小 4年 飯田 真那



夜でも明るいおかしな町  
秩父・大田小 5年 宮原 爽月



「あつ、晴れた!」キラキラあじさいがこんにはは  
行田・下忍小 5年 島田 珠月



かわずとびこむ水の音  
伊奈・南小 5年 秦 心和



恐竜たちの過ごし方  
坂戸・大家小 5年 八戸 勝多



なぜなくじらが世界を変える  
深谷・上柴東小 6年 福田優利花



過去と未来の夕焼けと夜  
三郷・彦郷小 6年 石橋 花純



宇宙からくるヘルメットエイリアン  
本庄・本庄西小 6年 坂本まてうす



海底に住む古代のタコ  
戸田・美谷本小 6年 溝口 啓太





**熱気と存在感**  
朝霞・朝霞第五中 1年 井田虎之介



**秩父公園橋**  
秩父・尾田蒔中 1年 菅間 遥朱



**不思議な世界のフクロウ**  
東松山・東中 1年 福島 明依



**秋色の中で**  
行田・西中 1年 藤井 紗姫



**ローラー描いてみた**  
坂戸・桜中 1年 趙 アンナ



**私のうわばき**  
本庄・本庄西中 1年 木村 春菜



**こんな感じかなア…?**  
宮代・須賀中 1年 菅野綺王良



**水面華**  
さいたま・大成中 1年 富山 雪音



**感情色は透明世界に溶けて**  
東松山・白山中 2年 齊藤 悠乃



**光の反射**  
加須・昭和中 2年 林 真里奈



**背景**  
深谷・上柴中 2年 用皆 椿華



**マスクをしている友人**  
横瀬・横瀬中 2年 工藤 円





**未来をみつめて**  
杉戸・広島中 2年 中島 宙愛



**朝の静けさ**  
上尾・大石中 2年 山口 花



**月の子**  
蕨・第二中 2年 高木 美菜



**自分の世界へ**  
所沢・上山口中 2年 岡戸 結希



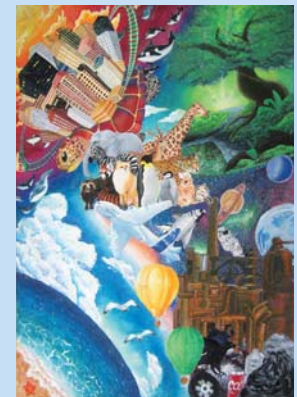
**15才の私**  
鳩山・鳩山中 3年 渡邊 陽香



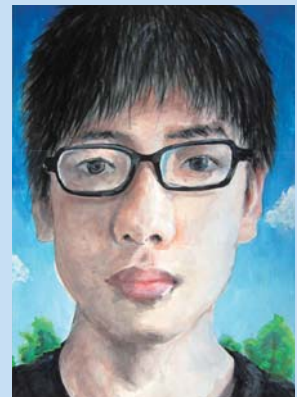
**未来の海**  
さいたま・馬宮中 3年 今野 るる



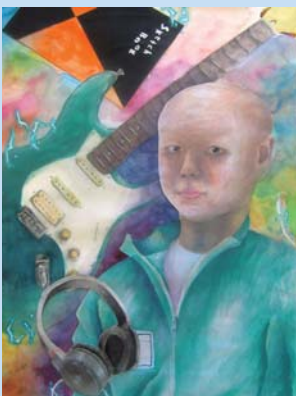
**真っ白な未来を見つめる**  
熊谷・妻沼東中 3年 田久 玲愛



**共に生きる**  
春日部・春日部中 3年 阿部 心愛



**見つめる自分**  
所沢・向陽中 3年 鈴木 陽矢



**エレクトリックな日常**  
秩父・秩父第一中 3年 上條 風太



**雄 大**  
加須・騎西中 3年 江頭 美榮



**私の世界**  
伊奈・小針中 3年 高垣 奏江



郷土を描く児童生徒美術展 特別賞作品より



ライオンのゆうぐ  
坂戸・坂戸小 1年 小峯 陽翔



たのしかったながしそうめん  
川口・飯塚小 1年 阿久津一真



おおきなわとり  
鴻巣・吹上小 1年 大石 羽純



にじときりん  
秩父・西小 1年 本間 璃衣



ペンギンといっしょ  
吉見・西が丘小 2年 瀬戸口 心



ナマケモノときせつの花火  
北本・南小 2年 鈴木 晴太



むしのひろば  
深谷・川本南小 2年 松田 雅



魚のまち  
秩父・秩父第一小 2年 前野 陽向



ぼくのしょうらいのゆめはピアニスト  
狭山・入間川小 3年 田中 博基



にじ色の川をわたる新幹線  
戸田・荻原小 3年 松岡 潤



重力があべこべな学校  
熊谷・三尻小 3年 杉原 成悟



なんでもうちゅうにこんな生物が  
吉川・中曽根小 3年 根本 蒼空





雲山の川越

川越・霞ヶ関東小 4年 坂下 龍成



ゆきの中のツリーハウス

新座・栄小 4年 山口 彩葉



雨上がりの日のハナミズキ

さいたま・日進小 4年 土屋 和奏



でっけえニジマス食いてえなあ!

小鹿野・長若小 4年 前野 若菜



今日はどの動物と遊ぼうかな

行田・桜ヶ丘小 5年 藤田 明翔



small world in おし入れ

桶川・朝日小 5年 井原 優翔



夢あふれるだるま・くわいランドヘレッツGO!!

越谷・荻島小 5年 廣岡 心羽



水上の街をたずねて

さいたま・木崎小 5年 石井香奈子



家の前の集会所

川越・川越第一小 6年 井口 凜



大好きなバスケットボール

本庄・北泉小 6年 芦澤菜々子



海の王と森の女王のお茶会

戸田・美谷本小 6年 竹岡 双葉



夕日にかがやく七小と鉄棒

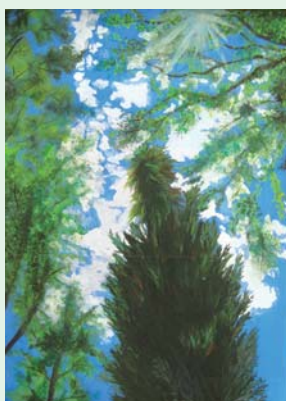
嵐山・七郷小 6年 藤野 友輔





### コロナ禍の夏

さいたま・本太中 1年 井上 滝仁



### 見上げた空

上尾・瓦葺中 1年 大島 そら



### 大正の校舎、今も輝く

東松山・東中 1年 米塚 壮汰



### 癒しの空間

本庄・児玉中 1年 沼尻 芽依



### 静と動

越谷・北中 1年 小泉 明依



### うまい!うますぎる十万石本店

行田・西中 1年 藤井 紗姫



### ベランダの向こう側に広がる夏の夕暮れ

春日部・江戸川小中 中1年 倉津 冬佳



### 木陰で見つけた夏

鶴ヶ島・南中 1年 安齋 一花



### 地下道

川口・西中 2年 太田ひなの



### 秩父神社～マスクをした狛犬

秩父・秩父第一中 2年 野口 萌衣



### 夏の思い出

さいたま・浦和中 2年 古谷 碧唯



### 金色の栃本親水公園

小川・東中 2年 上 あすか





**見上げたら狛犬**

本庄・本庄東中 2年 金井孝太郎



**変わらない眺め**

熊谷・江南中 2年 池田 ゆめ



**夏の昼下がり**

春日部・緑中 2年 有泉 絢野



**庭に2mの穴を掘ったら  
…ニワトリと目が合った!**

加須・昭和中 2年 小沢 拓也



**星川とうろう流し**

熊谷・富士見中 3年 岡田 真采



**紅葉の氷川神社**

加須・加須北中 3年 坂本 真綾



**目が、合った**

さいたま・馬宮中 3年 本多 由夢



**静かな場所**

伊奈・小針中 3年 永沢 未有



**満開**

鳩山・鳩山中 3年 山中 雨花



**鮮明な雨**

上里・上里北中 3年 高野 祥伍



**亀の子石と武甲山**

秩父・秩父第二中 3年 野本 慶斗



**夏の秩父鉄道**

行田・南河原中 3年 河合 亮佑

# 第60回埼玉県小・中学校児童生徒美術展 第12回中央展覧会

県内10地区の審査会で特に優秀だった平面作品100点、立体作品100点を集めました。

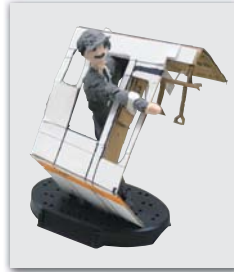
## 埼玉県知事賞

小学校低学年の部



ジェットでそらをとぶよこはまこうそくてつどう  
東松山市立青島小学校 第1学年 吉野 颯真

小学校高学年の部



ぼくの夢は電車の車掌  
ふじみ野市立東台小学校 第6学年 水村 叶芽

中学校の部



寝ている私  
上尾市立西中学校 第2学年 伊藤 優希

## 埼玉県議会議長賞

小学校低学年の部



こうもりと木  
入間市立扇小学校 第1学年 藤野 蒼真

小学校高学年の部



おはようございます！  
本庄市立北泉小学校 第6学年 須賀 彩子

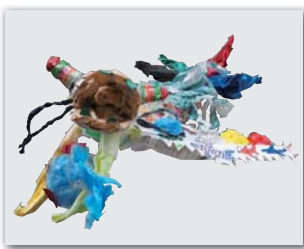
中学校の部



不安  
久喜市立菖蒲南中学校 第3学年 岸 未駆人

## 埼玉県教育委員会教育長賞

小学校低学年の部



さかなをままるドラゴン  
鴻巣市立屈巢小学校 第1学年 堀江 陽向

小学校高学年の部



ダンボールドラゴン  
さいたま市立大谷場小学校 第5学年 塚田 成

中学校の部



こころのかたち〜糸〜  
熊谷市立富士見中学校 第3学年 鈴木 沙耶香

## さいたま市教育委員会教育長賞

小学校低学年の部



雪だるま  
川口市立原町小学校 第2学年 南部 龍之介

小学校高学年の部



ようせい山  
埼玉大学教育学部附属小学校 第4学年 竹田 夏葵

中学校の部



だんまり  
熊谷市立三尻中学校 第3学年 宇都 秀美



3つの追究観点

- ① 受け止めよう 子どもの心
- ② 育てよう 確かな力
- ③ 深めよう 生き生き授業

※「主体的・対話的で深い学び」の視点

追究観点3  
深めよう 生き生き授業

- ☆ 子どもたちの実態に適した授業、子どもたちが生き生きと活動できる授業を構想すること
- ☆ 「主体的・対話的で深い学び」という視点も生かしながら、授業づくりのための手立てを豊かにすること

追究観点2  
育てよう 確かな力

- ☆ 「確かな力」を生きて働く力としてとらえ、育てたい力を具体的に明らかにし、学びを深めていくこと
- ☆ 造形的な見方や考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質や能力を育成すること

追究観点1  
受け止めよう 子どもの心

- ☆ 子どもたち一人一人の心（感性、表現の思いなど）をしつかりと受け止め、励まし、豊かな心を培うこと
- ☆ 自分の心を見つめ、他者と心を通わせ合うことを大切にすること

県美連研究テーマ 令和2年度（平成30年度～）  
**きらめく感性 つくりだす喜び**  
 ～ 未来をひらく授業づくり 「深い学び」の探求 ～

**課題3**  
 造形教育研究大会を結節点にして、年間の活動のあり方、進め方を整えること

**課題2**  
 次代の担い手を育てるとともに、図工・美術教育のさらなる拡充と浸透を図ること

**課題1**  
 これまでの研究成果を継承、発展させ、新教育課程も見据えて、「深い学び」を探求すること

県美連研究部

埼玉県美術教育連盟  
造形教育研究大会

平成30年度～



<目的と趣旨>

県美連の研究テーマ(大会テーマ)、及び、**追究観点①～③**を受け、**各分科会の研究の視点**にそって提案される各地区の**授業実践研究**の事例をもとに、**研究協議**を行うことを通して、**児童生徒理解を深め、育まれる力を検証**するとともに、**豊かな授業づくりのための理念や手立てを学び合い、広める**ことで、**図工・美術教育のさらなる充実を図る**。

Part1 (1日目)  
授業実践研究会

研究の視点

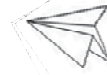
※ 各地区(会場地区を除く)の  
小・中学校の実践を通して

1 素材との対話  
(豊かな素材体験の実践例)

2 自己との対話  
(新たな自分と出会う実践例)

3 生活との対話  
(生活を豊かにする実践例)

4 作品との対話  
(豊かな感性を育む実践例)



大会テーマ(県美連研究テーマ)  
きらめく感性 作りだす喜び  
～ 未来をひらく授業づくり「深い学び」の探求 ～

追究観点①  
受け止めよう子どもの心

追究観点③  
深めよう生き生き授業

追究観点②  
育てよう確かな力

Part2 (2日目)  
創造体験研修会

題材開発の視点

A 造形遊び

B 絵に表す

C 立体に表す

D 生活に生かす

E 鑑賞活動

※ それぞれのコースを各地区で分担し、創意を生かして具体的なテーマや内容を企画  
(3年間を通した継続した取組に)



<目的と趣旨>

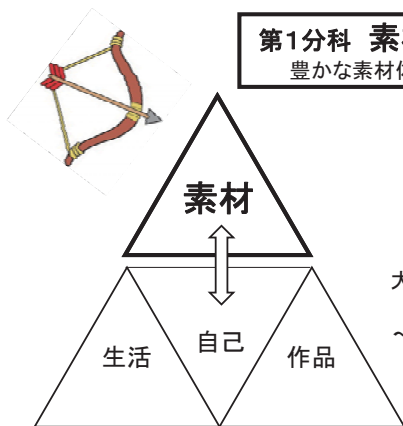
県美連の研究テーマ(大会テーマ)、及び、**追究観点①～③**を受け、**各コースの題材設定の視点**にそって提案される**ワークショップ(創造的・開発的な実技研修)**をもとに、**自らが創造的な体験**をすることを通して、**児童生徒の心や育まれる力を実感**するとともに、**豊かな題材開発と授業づくりのための実践力を培う**。



# Part1 分科会のイメージ

## 第1分科 素材との対話

豊かな素材体験の実践例



キーワード

材料, 用具, 場, 子ども同士のかかわり, 材料の特徴(よさや可能性, 欠点等)  
諸感覚, 身体感覚, 実感的な理解  
...

大会テーマ(研究テーマ)

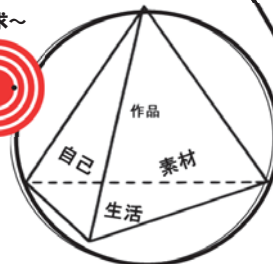
### きらめく感性 つかいだす喜び

～未来をひらく授業づくり「深い学び」の探求～

3つの追究観点

- ①受け止めよう子どもの心
- ②育てよう確かな力
- ③深めよう生き生き授業

「主体的・対話的で深い学び」の視点



表現及び鑑賞の活動

## 第2分科 自己との対話

新たな自分と出会う実践例



キーワード

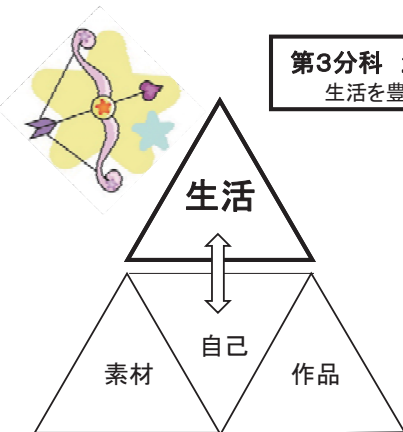
思い, 願い, 憧れ, 夢, 選択,  
自己決定, 自己肯定感, 自信,  
自尊感情, 自己愛, 自分らしさ,  
自分探し, 自分づくり, 新たな自  
分, あるがままの自分, 個性,  
主題を練る, 価値意識, 身体, ...

対話について

対象との対話, 他者との対話, 自分自身との対話といった対話のプロセスを通じて学習は成り立っていく。

## 第3分科 生活との対話

生活を豊かにする実践例

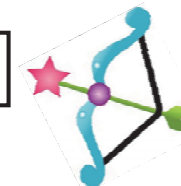


キーワード

日常生活, 家庭生活, 学校生活,  
社会生活, デザイン, 工芸, 地域,  
行事, 伝統, 生活世界, 生活空間,  
生活文化, 生活感情, 現実世界,  
家族, 友人, 遊ぶ, 飾る, 装う,  
衣食住, 社会問題, メッセージ,  
生命, 人生, ...

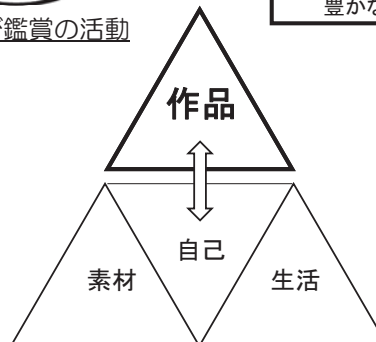
## 第4分科 作品との対話

豊かな感性を育む実践例



キーワード

他者との対話, 解釈, 交流,  
対話型鑑賞, 造形言語,  
造形感覚, 造形美術文化,  
表現と鑑賞の一体化,  
美術館との連携, 専門家, 実物  
見えないものとの交信,  
新たな世界との出会い, ...



**きらめく感性 つくりだす喜び** 令和2年度(平成30年度～)  
～未来をひらく授業づくり 「深い学び」の探求～

県美連研究部

**追究観点① 受け止めよう 子どもの心**

- 感性を働かせながら・感性を豊かにし
  - ・子ども自身の感覚、感じ方、ものの見方、表現の思いなどを重視する指導を意識すること
  - ・生活体験、学習体験から滲み出てくるもの、湧き出てくるもの
- つくりだす喜びを味わう・創造活動の喜びを味わう
  - ・創造のエネルギー、新しい意味や価値の創造、自己肯定感
  - ・主体性と対話(素材との～、自己との～、生活との～、作品との～)
- 美術を愛好する心情を育て
- 豊かな情操を養う
  - ・生きる力、人格の形成、人間性、心豊かな生活



創造のエネルギー→  
"心"が"力"を支え  
"力"が"心"を育む  
←生きる力となる資質や能力

**追究観点② 育てよう 確かな力**

- 造形的な創造活動の基礎的な能力を培う・美術の基礎的な能力を伸ばし
- 美術文化についての理解を深め
  - ・(目標・評価、内容)4つの観点→3つの柱
  - 「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」
  - ・〔共通事項〕(形、色など、イメージ)
  - ・目の前の子どもたちの実態に応じて
  - ・授業のねらいを具体化・明確化して
  - ・小中9年間の、つながり、積み重ねを大切に
  - ・教師の意図を超える子どもの姿も→次へのステップ



**追究観点③ 深めよう 生き生き授業**

「主体的・対話的で深い学び」という視点も生かしながら

- ポイント1 子どもの実態を把握し、適切な題材設定を
- ポイント2 まず、教師自身が創造体験を
- ポイント3 美術文化に目を向け、題材の魅力を生かして
- ポイント4 ねらい(=育てたい力)の具体化・明確化を
- ポイント5 題材名の工夫、題材渡し、「演出」の工夫を
- ポイント6 主題を深める過程を重視し、子どもを主体に
- ポイント7 自己選択、試行錯誤など、自由度の保障を
- ポイント8 材料や用具を吟味し、場づくりの工夫して

**3つの追究観点の関連性とエッセンス**

- ポイント9 友人との共同や交流、人との出会いを大切に
- ポイント10 「表現と鑑賞の一体化」という視点をもって
- ポイント11 体験、本物との出会い、実感的な理解を大切に
- ポイント12 「言葉かけ、や「支援」に力を傾けて
- ポイント13 様々な方法で、子どもの姿や心の動きをとらえて
- ポイント14 参考資料、ワークシートなどの工夫を
- ポイント15 ICT(映像機器、情報機器等)の効果的な活用を。
- ポイント16 学級・学年・学校づくり、家庭・地域との連携





# さいたま市地区

さいたま市立片柳中学校 校長 中 川 昇 次

## 子どもたちに感謝、先生方に感謝

コロナの影響で大変な1年でしたが、さいたま市の児童生徒のために、「できることはやってあげたい」の気持ちで、例年に近い多くの活動を行うことができました。思いの込められた作品をつくってくれた子どもたちに感謝、指導して発表の機会を与えてくれた先生方に感謝です。

さて、今年度を振り返ってみますと、コロナの影響の中、「身体障害者福祉のための埼玉県児童生徒美術展覧会」や「郷土を描く児童生徒美術展」には、例年と変わらぬ多くの作品を出品していただきました。3密にならないように、搬入と搬出については時間の幅を設け、審査も例年の半分の人数で行いました。8月予定の「埼玉県造形教育研究大会」は、来年度に延期となりましたので、さいたま市が担当するところは、来年度の発表となります。「中学校美術部展覧会」は、搬入を2つの時間帯に分け、審査を行い、全体での展示はなく、各学校での展示に変えました。市内7地区での「区展」では、学校での展示となった区もありますが、大宮区と岩槻区では、予定していた会場で展示発表が行えました。各区の先生方のお力によりどの区も成功を取めることができました。9月に開催された「図工・美術の授業展2020」においても、多くの先生方に実践発表のご協力をいただきました。今後も力を入れていきたいと考えています。2月の「埼玉県小・中学校等児童生徒美術展さいたま市地区展覧会」は、緊急事態宣言が発令されるまでは、例年の3分の1以内の作品数として、時間を3つに区切った搬入審査・搬出とし、学年ごとに時間を区切った開催を予定していました。発令後、審査会のみとなり、うらわ美術館を会場とする展示は叶いませんでした。よい作品が多かっただけにとっても残念です。どの展覧会も、来年度に向けて、希望が高まります。



審査会の様子



区展の様子



図工・美術の授業展2020の様子

## 埼玉県の図工・美術の火を消さない

本地区では、令和3年1月の県展に向け、会場の埼玉会館を令和2年1月末に予約決定し、入金も済ませました。「コロナが収束すれば、例年どおり実施できるのではないか。」このような思いのもと、5月の時点ではコロナ収束を願い、南部教育事務所に県展北足立南部地区展とその実施委員会の開催申請をし、承認をいただいております。

また本地区で夏季休業中に行っている身体障害者福祉美展の審査会方法変更の連絡が5月に届き、急遽北足立南部地区の運営スタッフ（校長先生方、事務局の方々）に本校に集まっていただき、対策会議を行いました。本地区の運営スタッフは企画力・変化対応力に優れ、とても機動的で勇気づけられました。連絡後、約1週間で方向性をまとめ、北足立南部地区の小・中学校に向けて文書発出ができたことも、本地区の運営スタッフの皆さんの力と存じます。

郷土展の対応についても、同様、9月末実施予定の審査会の変更文書を7月末に発出しました。10月には、運営スタッフライングループも作成し、やりとりを活性化させています。

県展については、10月の実施委員会で埼玉会館を密にしない対策を練りに練り、文書を発出しています。1月の緊急事態宣言再発令においても、対応策を急遽、運営スタッフで練り、文書発出にいたっております。

上記のように、数多くの変化への対応を迫られた一年でありましたが、運営スタッフが力を合わせ、乗り越えてきました。

図工・美術の学びは、〔共通事項〕形・色・イメージのとおり、言葉のやりとりに頼らず、視覚的な情報で共有ができる場所もありますので、比較的感染防止対策がしやすい教科であると思います。だからこそ、身障者福祉美展、郷土展、県展の埼玉県3大美術展については、例年同様に行い、「その火を消さない」ということを本地区の運営スタッフをはじめ、たくさんの先生方が思ってきました。特に、本地区の運営スタッフ皆さんの「子どもの学びをとめない環境づくり」を基に、みんなで知恵をしぼって奔走する一年でありました。幸い、子どもたちが表現したものを称賛し、賞状を授与できる環境は例年どおりつくっていくことができました。本地区の運営スタッフの皆さんの努力とアイデアに感謝申し上げるとともに、新型コロナウイルス感染症拡大がはやく収束することを願っております。





# 北足立北部地区

桶川市立日出谷小学校 校長 関野千鶴

## 今年度の活動を振り返って

北足立北部地区の今年度の活動は主に以下の通りである。

- 1 身体障害者福祉のための第62回埼玉県児童生徒美術展覧会 南部ブロック北足立北部地区審査会  
日時：令和2年8月4日（火）9：00～16：30 場所：鴻巣市川里農業研修センター
- 2 第55回郷土を描く児童生徒美術展 南部ブロック北足立北部地区審査会  
日時：令和2年10月6日（火）9：00～16：30 場所：鴻巣市川里農業研修センター
- 3 第1回埼玉県美術教育連盟南部ブロック北足立北部地区図工・美術研究協議会  
日時：令和2年12月2日（水）15：30～16：30 場所：桶川市立日出谷小学校
- 4 第61回埼玉県小・中学校児童生徒美術展南部ブロック北足立北部地区審査会  
日時：令和3年1月22日（金）13：30～16：30 場所：鴻巣市川里農業研修センター
- 5 第61回埼玉県小・中学校児童生徒美術展南部ブロック北足立北部地区展覧会は各校開催とし、各校で自校の児童生徒作品を校内に展示した。

本地区では例年、審査会を研修の機会と捉え、題材のねらいや児童生徒の発想や構想について、そして児童生徒自ら考え工夫したことについて十分に話し合うようにしている。今年度の小学校新学習指導要領全面実施を受け、児童生徒が「造形的な見方・考え方」を働かせている学習過程を予測して審査することが一層重要であると考え。感染症拡大防止のために、搬入する作品数、審査員の人数を絞り、換気やソーシャルディスタンスを保ちながらの取組となったが、概ね順調に運営でき、有意義な活動ができた。これを機に見直すべき点も見えてきた。今後も審査会や研究協議会を充実させ、内容を地区内で共有し、試行錯誤し切磋琢磨して本地区の美術教育の振興を図りたい。

また令和3年8月に延期となった造形大会授業実践研究会の担当地区として、感染症対策を講じた上で熱い協議が行われる研究会実現を目指し、準備に取り組んでいる。



(令和3年1月 第61回埼玉県小・中学校児童生徒美術展 地区審査の様子)

# 入間地区

所沢市立荒幡小学校 校長 鈴木 勢津子

## 今年度を振り返って

今年度を振り返ってみると、「コロナ禍でどのようにして各種の審査会・展覧会を運営・開催するか」に尽きる。役員で試行錯誤しながら、「できる」方法を模索した。役員会での人との距離は「密」ではなかったが、話し合いの内容は「濃密」であった。密を避ける、教員の負担を軽減（出張を減らす）することの2点を重点とした。

### 【身体障害者福祉のための美術展】

作品の搬入 入間地区13市町の各部長が自分の市町の商品をまとめ、荒幡小学校に「着払い」で送付  
審査 9月5日（土）審査員5名（会長、副会長2名、美連OB2名）で審査  
作品の搬出 入間地区13市町の各部長宛てに「発払い」で返却

### 【郷土を描く美術展】

作品の搬入 審査 搬出 10月7日（水）所沢市生涯学習推進センター  
市町で実施委員を割り振り、作品を搬入、審査後、搬出

### 【郷土を描く美術展 中央展】 校外教育協会と連携

審査 10月14日（水）所沢市生涯学習推進センター  
中央展準備 12月21日（月）県立近代美術館  
中央展 12月26日（土）27日（日）県立近代美術館  
中央展撤収 12月27日（日）

### 【埼玉県児童生徒美術展】

各校各学級数×2……入間地区入選 各校2……埼玉県特選  
作品搬入 1月29日（金）各市町で搬入する時間を指定 荒幡小学校体育館に埼玉県特選  
作品（平面、立体）を搬入、簡易展示  
審査 1月30日（土）審査員5名（会長、副会長2名、美連OB2名）で審査  
作品搬出 2月1日（月）各市町で搬出する時間を指定して搬出



子どもたちの作品に  
癒されました。  
図画工作・美術の必要性、  
重要性を再認識した  
1年でした。





## 比企地区図工美術部の活動について

今年度は、どこもそうですが、新型コロナウイルス感染拡大のため例年とは異なる取組を余儀なくされました。

緊急事態宣言で休校措置がとられ授業日数が大幅に削減され、様々な行事が中止される中、身障者福祉美術展、郷土展、児童生徒美術展が予定通り行われるのか心配したり、そのことに関連した各学校からの問合せに応じたりしながらの1年間でした。

比企地区図工美術部の今年度の活動を振り返ります。

9月11日（金）東松山市立野本小学校会議室で、身体障害者福祉のための児童生徒美術展審査会を行いました。審査員は比企地区図工美術部員を代表して、小学校、中学校から2名ずつと代表校長、事務局長の6名で実施しました。各地区から特選候補作品を事前に野本小に届けていただきました。

10月14日（水）東松山市民文化センター大会議室で、郷土を描く児童生徒美術展審査会を行いました。審査員は比企地区図工美術部正副部長（東松山のみ審査員4名参加）で実施しました。比企地区内各小中学校より特選候補作品を持ち寄りしました。

11月25日（水）東松山市立野本小学校で比企地区図工美術部正副部長会を行いました。埼玉県児童生徒美術展比企地区展の開催について検討し、今年度は審査会の未実施、一般公開は中止としました。

1月22日（金）東松山市民体育館で、埼玉県児童生徒美術展比企地区展審査会を行いました。審査員は比企地区図工美術部正副部長で実施しました。比企地区小中学校より平面・立体2点ずつ特選候補作品として出品。立体作品に力作が多かったのが印象的でした。

冒頭に述べたように、コロナ禍にあり色々大変でしたが（まだ収束には至っていませんが）各小中学校が工夫して図工・美術の授業に取り組んでいただき、例年と比べ点数は限られてしまいましたが児童生徒の作品を出品していただいたことに感謝いたします。また、県美連の役員の先生方、審査会で御指導いただいた所沢市立荒幡小学校長 鈴木勢津子先生に感謝いたします。

ありがとうございました。



来年は、盛大な美術展の開催を願っています。

(写真は令和元年度の児童生徒美術展)

## 児玉地区

本庄市立北泉小学校 校長 岡村 和美

### チーム児玉 ピンチをチャンスに！ 審査会は「図工・美術科研修会」の場

令和2年度は、コロナ感染防止対策年度でした。子どもたちの豊かな心をはぐくむための、子どもたちが楽しみにしていたさまざまな行事や展覧会が中止になった一年でした。しかし一方では、今までの形骸化されたシステムを見直すためのよい機会だったとも捉えられます。まさに、ピンチをチャンスにチェンジする意味のある一年でした。

児玉地区では、児玉郡市教育研究会・図工美術科研究会の32名の図工美術主任と会長・副会長がチームとなり子どもたちの輝く笑顔のために、本年も①身体障害者福祉のための美術展、②郷土を描く美術展、③埼玉県小中学校児童生徒美術展の3審査会を3密回避して実施しました。コロナ禍だからこそ日々の授業を充実させることが重要です。特に、図工美術科には心の教育としての使命があります。個に応じた指導、個のよさを最大限に引き出す指導がどれだけ子どもたちの笑顔を輝かせるか、今こそ教員は図工美術科の役割の大きさを自覚し、授業の質の向上を目指さなければなりません。

そこで、「チーム児玉」は、各種研修会ができない今だからこそ、審査会を指導力向上研修の場として「表現」および「鑑賞」の指導と評価について研修を深めました。会長である私自身が講師となって、各学校から出品された作品を基に、新学習指導要領が求めている図工の力の育成について具体的な示唆を与え、自ら現在の授業実践も紹介しています。また、児童生徒美術展中央展審査会では、北部教育事務所の星野哲郎指導主事様、副連盟長の勝山寛美様を招聘してさらなる研究を深めました。その成果として、回数を重ねるごとに子どもたちの作品が変容していることが見てわかります。この、「見て、わかる」ことが図工美術科の力です。教員同士、子ども同士も、自分の変容や仲間の変容が見てわかる。このことが自己有用感を実感し生きる喜びにつながります。私は、「**美術の力で学校を創る、子どもが輝く。**」を学校経営の合言葉にしています。今後も美連のみなさんと美術教育への情熱と使命感をもち、一緒に邁進していきましょう。





# 大里地区

熊谷市立玉井小学校 校長 大谷 裕紀

## 令和2年度大里地区審査を振り返り

大里地区では、1月29日（金）熊谷市スポーツ・文化村「くまびあ」にて、第61回埼玉県小・中学校等児童生徒美術展大里地区審査が行われました。例年よりも持参する作品数を抑え、コロナ対策を万全にし、できるだけ時間をかけないように注意しながらの審査となりました。全児童が、段ボールを素材に取り組む小学校、また、新しい題材に挑戦する中学校など、昨年以上に新しい「風」を感じられる審査会となりました。

### 小学校審査 熊谷市立佐谷田小学校 木村 浩 校長から

材料や表現技法の特性を生かしたり、色鮮やかに表現されたりした作品が見られ、楽しい気持ちで審査に臨むことができました。その中には、作者の思いが素直に表現された作品も見られ、子どもの気持ちに寄り添った先生の指導を感じることができました。

今後も、先生方には、子どもたちが造形的な見方・考え方を働かせ、三つの資質・能力が身に付くような授業を心掛け、その結果として、個性あふれる作品が表現されることを願っています。そのためにも、教材研究をしっかりと行い、子どもたちと一緒に授業をつくってほしいと思います。

### 中学校審査 深谷市立岡部中学校 森田 豊 校長から

中学校では、コロナ禍での様々な制約があったにもかかわらず、充実した作品が出品されていたことに驚かされました。また、令和3年度の新学習指導要領全面実施をひかえ、その趣旨やねらいがよく活かされた作品が増えていることも確認できたことはうれしい収穫でした。

また、生徒一人一人の思いを生かすために、新しい素材や様々な技法を積極的かつ柔軟に取り入れた作品が多く、同じ学校の作品であっても、一つ一つの作品が個性豊かに、それぞれの作者（生徒）の思いが見る側に伝わってくる作品となっていたことは特筆に値します。こうした取組は、教員にとって負担が大きくなりますが、多くの制約の中で、それに取り組んでいただいた指導者の先生方に敬意を表したいと思います。一方で、従前と変わらない作品づくり（学習）が行われている学校も見られました。1人の教員が全学級を担当することの多い美術科の実情をふまえ、引き続き、地域をあげて研修を深めることの重要性を感じました。



## 今年度の活動を振り返って

今年度を振り返ると、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、美術展の審査さえもできないのではと心配が絶えない1年であった。どのようにしたら実施できるのか、秩父地区の実施委員と何度も話し合いを重ねながら進めてきた。

身体障害者福祉の美術展審査と郷土を描く美術展審査については、13名の少ない人数の実施委員で行った。換気や昼食時に特に配慮しながら、ほぼ例年通りに行うことができた。

県児童生徒美術展については、例年と異なり、審査会を行った後の展覧会は各学校で作品展示をし、可能な学校はホームページで様子を公開する形にした。この美術展の審査会は、秩父地区全校の図工美術主任によって行う。発達段階による「子どもの見方・考え方」を頭に置き、教員同士が作品を通して対話しながら審査を進める姿が見られる。作品の制作過程を話したり、子どもの思いを話したりと、作品を通じた教員同士の研修の場になっている。この対話的な研修の成果が、日々の主体的・対話的で深い学びの実践につながっていくと感じた。また、作品いっぱい表現された子どもの思いを、公開しないで審査会だけで終わってしまうのはもったいないとも感じた。例年、この美術展は作品を出品した児童生徒に加え、保護者や祖父母、地域の方等がたくさんお見えになっている。作品の前で記念写真を撮る家族連れや「孫の作品が出ているから見に来た」という方もたくさんいる。今年度、展覧会を公開できず、子どもの思いを広く伝えることができなかったのはとても残念であった。しかし、展覧会があるなしに関わらず、新学習指導要領に沿った図工・美術教育を通して、「子どもの見方・考え方」を育てていかなくてはならない。今後も秩父地区の活動が、図工・美術の指導力向上の一助となり、主体的に取り組む子ども達の育成につながることを願っている。





## 今年度の活動を振り返って

他地区と同様に本地区の学校も、令和2年度は新型コロナウイルス感染症による2か月間の臨時休業が明けた6月1日からのスタートでした。当然ながら、各学校では児童生徒の安全と遅れた学習を取り戻すことが最優先となりましたので、各市の図工・美術部会や北埼玉地区美術教育研究会の活動は、事実上、凍結状態となりました。もちろん水面下では役員等の組織づくりを遠隔で進めておりましたが、人を集めての会議が開催できないまま約3か月が過ぎました。

初めての地区の集まりは、9月11日（金）に行田市総合体育館で実施した「身体障害者福祉のための児童生徒美術展覧会」の地区審査会でした。審査会場には、例年と遜色のない充実した作品が集まっていたので驚きました。それは、コロナ禍の学習が進度調整等により国語や算数・数学を優先し、図工・美術の授業が通常どおりに行われていないのではないかという多少の不安があったからです。

10月9日（金）にワークヒルズ羽生で実施した「郷土を描く児童生徒美術展」の地区審査会でも、同じ事を感じました。短い期間に2つの展覧会が集中したにもかかわらず、各学校ではそれぞれが抱える課題に対応しながら工夫して取り組んでいました。そもそも他教科の学びと図工・美術の学びに優劣の差などなく、どの教科も子どもにとっては大切な学習です。むしろコロナ禍だからこそ、図工・美術の創造的で主体的な学びが必要と言えます。各校の先生方がそのことを理解して取り組んでいたことに安堵するとともに、子どもたちの作品を前に語り合えることの喜びを今まで以上に感じた審査会でした。

年が明けた令和3年1月22日（金）に「埼玉県小・中学校等児童生徒美術展」の地区審査会を行田市総合体育館で実施しました。一般には公開されることのない子どもたちの作品をアリーナの床に並べ、はじめに市ごとの班内審査、次に審査員を加えての特選審査、さらに中央展出品作品の選出へと進めていきました。審査後には研究協議会を実施し、審査員の先生方から御指導をいただく有意義な時間を設けることができました。併せて、やはり展示されることのない中央展出品作品を参加者全員で鑑賞しました。一般公開が中止となったことはたいへん残念ですが、子どもたちの作品を称賛する機会と先生方の研修の場が失われなかったことに感謝しながら一日を終えました。

これまでに経験したことのない図工・美術の活動を通して、教育というものが子どもを第一に考えている先生方の情熱によって支えられているということに改めて感じた一年でした。



地区審査会の様子



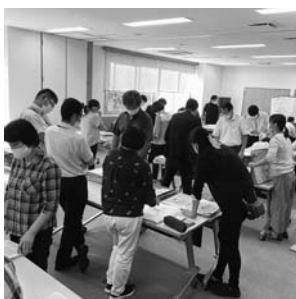
中央展出品作品を鑑賞する時間

## 今年度の活動を振り返って

### 1 美術展の実施

#### ①身体障害者福祉のための第62回児童生徒美術展

- ・地区審査会 令和2年9月15日(火) 越谷市増林地区センター
- ・県中央審査会 令和2年9月23日(水) 埼玉県身体障害者福祉協会



#### ②第55回郷土を描く児童生徒美術展

- ・地区審査会 令和2年9月30日(水) 越谷市増林地区センター
- ・県中央審査会 令和2年10月14日(水) 所沢市生涯学習センター
- ・県中央展覧会 令和2年12月26日(土) 27日(日) 埼玉県立近代美術館

#### ③第61回埼玉県小中学校児童生徒美術展

- ・埼葛地区展 令和2年12月1日(火) ~ 各市町・学校にて展示・公開  
久喜市、杉戸町は市町で展覧会を実施。その他の市町は各学校ごとに展覧会を実施。



(久喜市内展)



(越谷市中学校内展示)

- ・県中央展覧会 (地区展審査会1/29を経て平面6点立体7点を選出。中央展審査会2/10を経て県のホームページに公開)

### 2 各事業を振り返って

各種展覧会が、昨年度より規模を縮小して開催されました。各学校が工夫をし、児童生徒の思いが豊かに表現された作品を出品していただきました。御協力ありがとうございました。深く感謝申し上げます。今後も、図工・美術教育の充実に向け取り組んでまいります。



# 埼玉県美術教育連盟会則

## 第 1 章 総 則

- 第1条 本会は、埼玉県美術教育連盟と称し、事務局を会長指定の学校に置く。
- 第2条 本会は、美術教育の振興を図ることを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- 1 美術教育に関する調査研究、並びに調査研究の奨励・助成。
  - 2 講演会、講習会、研究協議会、展覧会、制作会等の開催。
  - 3 関係機関・団体との連絡。
  - 4 その他必要な事項。

## 第 2 章 組 織

- 第4条 本会は、埼玉県内小中学校の美術教育に関する教職員をもって組織する。

## 第 3 章 役 員

- 第5条 本会に次の役員を置く。
- 1 連 盟 長 1名
  - 2 副連盟長 5名
  - 3 常任理事 若干名
  - 4 理 事 若干名
  - 5 監 事 2名
  - 6 幹 事 若干名
- 第6条 役員の仕事は、次のとおりとする。
- 1 連盟長は、本会を代表し、会務を総理し、各種会議等を召集する。
  - 2 副連盟長は、連盟長を補佐し、連盟長に事故ある時はその職務を代理する。
  - 3 常任理事は、常任理事会を構成し、会務の企画、執行するとともに、各地区と連絡の任に当たる。
  - 4 理事は、理事会を構成し、総会から委任された事項について審議決定するとともに、各班との連絡の任にあたる。
  - 5 監事は、会計を監査する。
  - 6 幹事は、庶務会計をつかさどる。
- 第7条 役員を選出は、次のとおりとする。
- 1 連盟長、副連盟長、監事は、理事会で選出する。
  - 2 常任理事は、各地区ごとに、小中学校1名を選出する。ただし、必要により若干名を増すことができる。
  - 3 理事は、各班ごとに小中学校各1名を選出する。
  - 4 常任理事、理事は兼ねることができる。

- 5 幹事は、連盟長が委嘱する。幹事のうち1名を事務局長とする。

- 第8条 役員の仕事は2年とする。ただし、再任を妨げない。補欠役員の仕事は、前任者の残任期間とする。

- 第9条 本会に顧問を置くことができる。

## 第 4 章 機 関

- 第10条 本会に、次の機関を置く。
- 1 総会 2 理事会 3 常任理事会
- 第11条 総会は、毎年一回開催する。ただし、必要により臨時に開催することができる。
- 1 総会では、次の事項について、審議決定する。
    - (1) 会務の報告ならびに決算。
    - (2) 事業計画ならびに予算。
    - (3) 会則の変更、その他必要な事項。
  - 2 総会は、必要により、理事会をもって、これにかえることができる。
- 第12条 理事会は、次の事項について審議する。
- 1 会務の報告ならびに決算。
  - 2 事業計画ならびに予算。
  - 3 会則の変更、その他必要な事項。

- 第13条 常任理事会は、次のことを行う。

- 1 各種原案の作成。
- 2 総会、理事会決定事項の処理。
- 3 その他必要な事項。

- 第14条 本会は、会務を処理するため、次の専門部を設ける。ただし、必要により臨時に専門委員会を設けることができる。

- 1 研究部 2 事業部 3 編集部

- 第15条 各専門部ならびに専門委員会の構成は理事会で定める。

## 第 5 章 会 計

- 第16条 本会の経費は、埼玉県連合教育研究会の配分金をもって充てる。

- 第17条 本会の会計年度は、4月1日より翌年3月31日までとする。

- 付 則 本会則は昭和25年5月1日から施行する。

本会則は昭和50年5月14日から改正施行する。

本会則は昭和55年6月10日から改正施行する。

本会則は平成12年8月9日から改正施行する。

本会則は平成16年6月11日から改正施行する。

# 令和2年度 埼玉県美術教育連盟役員

- 顧問** 山屋 敬典 五井 修 馬場 恒安 三澤 文人 松本 晃 野澤 優 茅野 憲一  
 石田 拓喜 笠原 秀夫 村上 博俊 矢嶋 廣明 関根 隆之 加藤 修  
**連盟長** 中川 昇次 さいたま・片柳中  
**副連盟長** 丹後 雅博 さいたま・大宮西小 岩田 直代 川口市・鳩ヶ谷小 鈴木勢津子 所沢市・荒幡小  
 勝山 寛美 上里町・上里中 中島 高広 加須市・大越小  
**監事** 伊藤 貴重 越谷市・大沢北小 伊藤 政久 川口市・安行東小  
**研究部長** 山田 一文 戸田市・美女木小  
**編集部長** 板橋 利行 川口市・元郷南小  
**事業部長** 閑野 千鶴 桶川市・日出谷小  
**事務局長** 坂井 貴文 埼大附属小  
**幹事** [本部役員事務局]  
 安藤 健太 埼大附属小 小西 悟士 埼大附属中 吉田 真梨 埼大附属中  
 [本部役員事務局会計]  
 日高 大介 さいたま・南浦和小  
**常任理事・理事** (◎:ブロック長 ○:地区代表 ◇:地区事務局長)

地区	常任理事	理事・小	理事・中
さいたま市	◎丹後 雅博 さいたま市・大宮西小		
	○中川 昇次 さいたま・片柳中 丹後 雅博 さいたま・大宮西小 金子 宣史 さいたま・上落合小 村田 寿一 さいたま・島小 寺内 啓容 さいたま・南浦和中 大河内 範一 さいたま・指扇中 石田 成夫 さいたま・中尾小 中込 光統 さいたま・大谷口小 正田 真由美 さいたま・七里中 藤本 往弘 さいたま・大宮南中 小川 直生 さいたま・三橋中 ◇田島 均 さいたま・辻小	石井 ゆかり さいたま・大砂土小 飛知 和朋子 さいたま・大宮西小 才津 純子 さいたま・常盤小 依田 淳子 さいたま・栄小 磯部 繁征 さいたま・片柳小 日高 大介 さいたま・南浦和小 吉田 桂子 さいたま・東大成小 河村 智佳 さいたま・下落合小 白岩 智哉 さいたま・大砂土東小 依田 利枝 さいたま・岸町小 秋山 真吾 さいたま・木崎小 駒込 祥子 さいたま・善前小 野島 由美 さいたま・辻小 阿部 純子 さいたま・城北小 脇元 重彰 さいたま・蓮沼小	山口 史貴 さいたま・大宮北中 小林 幸子 さいたま・三橋中 八木橋 麻子 さいたま・慈恩寺中 尾竹 朝子 さいたま・本太中 山岸 啓介 さいたま・指扇中 板倉 香代美 さいたま・宮原中 鳥山 多加子 さいたま・上大久保中 小口 稚聡 さいたま・与野東中 高藤 友輔 さいたま・大宮南中 川幡 木綿子 さいたま・三室中
南浦	◎岩田 直代 川口市・鳩ヶ谷小		
	北足立南 ○山根 淳一 戸田・戸田第二小 山田 一文 戸田・美女木小 板橋 利行 川口・元郷南小 加田 明 川口・原町小 伊藤 政久 川口・安行東小 小出 喜代子 川口・領家中 岩田 直代 川口・鳩ヶ谷小 岩崎 良紀 朝霞・朝霞第五中 滝沢 和子 戸田・美谷本小 松井 一民 草加・谷塚小 中西 正春 志木・志木中 矢花 俊樹 蕨・北小 大森 晴海 和光・第二中 齋藤 彩乃 朝霞・朝霞第八小 ◇吉田 賢宏 川口・戸塚小	高比良 紀代美 戸田・芦原小 杉浦 勝明 蕨・塚越小 梅津 一義 川口・飯塚小 田村 光隆 草加・松原小 門田 生世 志木・宗岡第三小 依田 祥子 新座・第四小 吉野 綾 朝霞・朝霞第十小 隅田 菜月 和光・本町小	濱田 征臣 戸田・喜沢中 澤井 敦子 蕨・東中 羽鳥 弘次 川口・十二月田中 福澤 好子 草加・草加中 石黒 ゆかり 志木・志木中 浅沼 夏菜 新座・第三中 富岡 史子 朝霞・朝霞第四中 大森 晴海 和光・第二中
北足立北	○閑野 千鶴 桶川・日出谷小 荒井 幸子 鴻巣・鴻巣西中 石塚 香代 鴻巣・赤見台第一小 庄田 薫 鴻巣・屈巣小 大山 文子 鴻巣・川里中 田野 順子 北本・東小 長峯 絵里子 桶川・桶川西中 関口 竜平 上尾・上平中 木村 光江 上尾・瓦葺中 ◇小野 東子 伊奈町・伊奈中 ◇馬場 有香 鴻巣・広田小	尾見 拓哉 上尾・西小 山田 成美 桶川・朝日小 柿田 結花 伊奈町・小室小 田野 順子 北本・東小 石塚 哲也 鴻巣・松原小 近藤 早奈江 鴻巣・鴻巣東小	大島 伸夫 上尾・大石中 津田 理恵子 桶川・加納中 小野 東子 伊奈町・伊奈中 田中 和之 北本・北本中
西部	◎鈴木 勢津子 所沢市・荒幡小		
	入問 ○鈴木勢津子 所沢・荒幡小 田中 晃 川越・東中 田中 俊一 所沢・松井小 萩原 秀基 川越・南古谷小 嶋田 恵美子 川越・霞ヶ関小 ◇高橋 瑠美 川越・高階西小 小関 勝司 ふじみ野・駒西小 木藤 龍一 川越・霞ヶ関北小 新家子 美知子 ふじみ野・大井小 川端 潤子 入間・藤沢東小 皆川 優花 鶴ヶ島・新町小 安藤 栄信 川越・名細中 杉浦 ゆうこ ふじみ野・西小 森下 弘章 飯能・飯能第一中 児島 綾子 狭山・新狭山小 勝野 優子 富士見・勝瀬中 熊谷 里香 鶴ヶ島・藤中 西宮 淳 毛呂山町・光山小 宇野 牧恵 入間・狭山小	及川 美沙子 入間・東金子小 笹沼 穂 越生町・越生小 栗原 苑美 川越・山田小 加藤 裕子 坂戸・入西小 原 健志 狭山・山王小 五十嵐 朋 鶴ヶ島・杉下小 渡邊 美和 飯能・奥武蔵小 井元 まみ 狭山・高萩北小 栗原 美沙 富士見・鶴瀬小 新井 光弘 三芳町・上富小	管理 光沙 入間・向原中 三浦 由恵 越生町・越生中 日山 しのぶ 川越・川越第一中 佐藤 美和 川越・富士見中 渡邊 晃 坂戸・浅羽野中 三上 司朗 狭山市・山王中 常岡 幸夫 所沢・向陽中 田中 裕樹 坂戸・北野中 森川 拓也 日高・高萩北中 照井 恵 富士見・東中 岩井 芳裕 ふじみ野・葦原中 佐々木 真理子 ふじみ野・大井中 岸野 直子 三芳町・三芳中



地区	常任理事	理事・小	理事・中
西部ブロック	比企 ○阿形 寿和 東松山・野本小 酒井 真紀 東松山・白山中 山崎綾希子 小川町・八和田小 瀬上 悟子 嵐山町・志賀小 高橋 靖子 鳩山町・鳩山小 後藤 雅史 川島町・川島中 渡辺 薫 吉見町・吉見中 ◇二木 洋明 東松山・東中	西川 洋充 東松山・高坂小 川端 秀幸 ときがわ町・萩ヶ丘小 池田恵理子 吉見町・東第一小	万里 拓己 小川町・東中 中村 愛 滑川町・滑川中
北	◎勝山 寛美 上里町・上里中		
部	児玉 ○岡村 和美 本庄・北泉小 小柳 雄二 美里町・東児玉小 星野 晴紀 上里町・上里中 ◇二木 利子 本庄・児玉中 豊浦 友紀 本庄・共和小 小泉 巨 本庄・本庄西小 伊能 純枝 神川町・神泉小	小泉 巨 本庄・本庄西小 豊浦 友紀 本庄・共和小 宮崎 由果 本庄・仁手小 松本 莉奈 本庄・藤田小 瀧川 真弓 上里町・賀美小 伊能 純枝 神川町・神泉小 山崎 沙織 美里町・松久小 小林 玲子 美里町・東児玉小	高橋 京子 本庄・本庄東中 肥高 雅美 本庄・本庄西中 森重利枝子 本庄・本庄南中 二木 利子 本庄・児玉中 星野 晴紀 上里町・上里中 安藤 友紀 上里町・上里北中 並木 好江 美里町・美里中 三宅 光起 神川町・神川中
ブ	大里 ○大谷 裕紀 熊谷・玉井小 竹内 恵理 熊谷・妻沼南小 井上 恵美 熊谷・玉井中 杉田 梓 深谷・藤沢小 古屋美恵子 深谷・花園小 榎本 浩子 深谷・明戸小 井上 暢之 深谷・深谷中 大竹 清乃 深谷・藤沢中 井出はる枝 寄居町・男衾中 和田 志織 寄居町・男衾小 ◇根岸 由紀 深谷・岡部中	藤生 桂大 熊谷・大幡小 林 亜沙美 熊谷・大麻生小 皆川 舞 熊谷・熊谷南小 竹田 恭子 熊谷・秦小 横塚久美子 深谷・上柴東小 福島 寛之 深谷・深谷小 斉藤 優美 深谷・桜ヶ丘小 田中 久士 寄居町・用土小 内野 里奈 寄居町・鉢形小	永井 浩子 熊谷・三尻中 小田澤 優 熊谷・荒川中 関根 麗 熊谷・大幡中 大沢 弥生 熊谷・妻沼東中 清水 裕子 深谷・上柴中 田島かおり 深谷・南中
ク	秩父 ○大澤 伸一 秩父・荒川西小 加藤 悦子 小鹿野町・小鹿野中 長橋 寿子 小鹿野町・長若小 ◇中村 直史 秩父・秩父第一中	須永 美礼 小鹿野町・両神小 雨宮 真澄 皆野町・国神小	赤岩 菜美 秩父・秩父第二中 関根 梓 長瀨町・長瀨中
東	◎中島 高広 加須市・大越小		
部	北埼玉 ○中島 高広 加須・大越小 寺井進一郎 羽生・東中 白井 広美 行田・南河原中 村上 訓 行田・北小 山水 明 羽生・東中 山奈津美 加須・大利根中 稲垣 直人 羽生・東中 ◇甘楽 絃子 行田・長野中	新居麻由子 行田・南河原小 中村佳世子 行田・東小 五十嵐はる菜 羽生・三田ヶ谷小 川野 絹子 羽生・新郷第一小 岡安美沙枝 加須・加須小 林 和子 加須・田ヶ谷小 金子 愛子 加須・豊野小 桑原 友希 加須・加須南小 鳥越 人美 羽生・新郷第二小	岡戸美樹子 行田・行田中 岩淵 優子 加須・騎西中 五味 愛子 加須・加須東中
ブ	埼玉葛 ○峯 裕彦 越谷・東中 伊藤 貴重 越谷・大沢北小 岡村 勝成 三郷・彦郷小 清水 和貴 三郷・高州東小 守田 純一 三郷・吹上小 小林 昭生 越谷・千間台小 伊藤 裕介 越谷・中央中 鳥海奈津子 久喜・鷺宮西中 小林 寿子 久喜・太東中 松村 陽子 久喜・花田小 桐ヶ谷麻紀 吉川・中曾根小 平栗 彰子 吉川・中曾根小 石川 清子 宮代町・百間中 小山 健 松伏町・松伏小 ◇宮本 元 越谷・東中	林 友子 春日部・内牧小 中村恵三子 蓮田・蓮田中央小 川上 京太 越谷・千間台小 安村 安里 八潮・八幡小 西 隆広 久喜・砂原小 土屋 冬真 白岡・菁莪小 村田 千春 宮代町・笠原小 松本 千秋 幸手・さかえ小 細越 正子 杉戸町・杉戸第二小 芦田 晟也 松伏町・松伏小 桐ヶ谷麻紀 吉川・中曾根小 佐藤 慶子 三郷・吹上小	谷 弘美 春日部・大沼中 尾上ちひろ 蓮田・平野中 新井 美智 越谷・大袋中 栗原 雅子 八潮・潮止中 吉村 英治 白岡・白岡中 関谷 典子 幸手・幸手中 関口 美弘 杉戸町・広島中 大内彩記子 松伏町・松伏第二中 米谷小百合 吉川・東中 本間恵里加 三郷・早稲田中
埼玉大学	坂井 貴文 埼玉大附属小 小西 悟士 埼玉大附属中	安藤 健太 埼玉大附属小	吉田 真梨 埼玉大附属中

専門部事務局

部	専門部事務局 (◎：部長 ◇：部事務局長)		
研究部	◎山田 一文 戸田・美女木小 石井ゆかり さいたま・大砂土小 浅沼 夏菜 新座・第三中 関口 竜平 上尾・上平中 大山 文子 鴻巣・川里中 田野 順子 北本・東小 石塚 香代 鴻巣・赤見台第一小 尾見 拓哉 上尾・西小	大島 伸夫 上尾・大石中 井手尾晋一 狭山・新狭山小 安藤 栄信 川越・名細中 二木 洋明 東松山・東中 高野 敏 所沢・椿峰小 鈴木 彩子 坂戸・城山中 古屋美恵子 深谷・花園小	根岸 由紀 深谷・岡部中 榎本 浩子 深谷・明戸小 小山 健 松伏・松伏小 平栗 彰子 春日部・上沖小 甘楽 絃子 行田・長野中
事業部	閑野千鶴 桶川・日出谷小		
編集部	◎板橋 利行 川口・元郷南小 ◇本多 啓介 草加・草加中 杉原 優華 和光・広沢小 宮澤 直美 新座・陣屋小 阿武 智子 吉川・三輪野江小 杉浦ゆうこ ふじみ野・西小	秋山 真吾 さいたま・木崎小 鈴木 利枝 さいたま・岸町小 濱田 征臣 戸田・喜沢中 西宮 淳 毛呂山町・光山小 金山 智子 川口・東本郷小 高田悠希子 戸田・新曾中	

# 令和2年度 事業概要

## I 研究主題と方針

### 1 研究主題

「きらめく感性 つくりだす喜び  
～未来をひらく授業づくり 「深い学び」の探求～」

### 2 活動方針

- (1) 本年度の研究テーマは「きらめく感性 つくりだす喜び ～未来をひらく授業づくり 「深い学び」の探求～」とする。
- (2) 子どもの心と力をどのように見取っていかを研究し、示していく。
- (3) 令和5年(2023年)の「関プロ大会」を見据えながら、「未来をひらく授業づくり」につながるような提案、目玉になるような提案を埼玉から発信できるよう準備していく。

## II 活動状況

会則に基づき、次の事業を行った。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの展覧会や会議等が中止や延期、あるいは内容等が変更となった。

4月17日(金) 正副連盟長・事務局会議 中止  
※書面開催

[埼大教育学部附属小]

5月12日(火) 役員研修会(常任理事会) 中止  
※書面開催

[埼大教育学部附属小]

6月12日(金) 総会中止※書面開催  
[ときわ会館]

6月13日(土) 関プロ代表者会議 中止  
※オンライン会議

[新宿区立淀橋第四小]

8月4日(火) 第62回埼玉県造形教育研究大会  
授業実践研究会(南部大会)延期  
[県民総合活動センター]

9月23日(水) 身障者福祉美術展中央審査 及び  
臨時正副連盟長・事務局長会議

[埼玉県浦和合同庁舎]

10月14日(水) 郷土展中央審査 及び  
臨時正副連盟長・事務局長会議

[所沢市生涯学習推進センター]

10月31日(土)・11月1日(日)

第61回身障者福祉美術展中止

[熊谷市スポーツ文化村くまびあ]

11月20日(金)・21日(土)

第60回関東甲信越静地区

造形教育研究大会千葉大会中止

[成田小学校、成田中学校、Hヒルトン成田]

12月26日(土)・12月27日(日)

第55回郷土展中央展

[埼玉県立近代美術館]

1月下旬

第61回埼玉県児童生徒美術展

審査実施・展示中止

[県下10会場]

2月10日(水) 県美術展第13回中央展審査

[埼玉県立近代美術館]

2月12日(金) 役員研修会(理事会) 中止

※書面開催

[埼玉県立近代美術館]

2月13日(土)・14日(日) 県美術展第13回  
中央展中止

2月14日(日) 県美術展第13回中央展表彰式  
中止

2月19日(金) 正副連盟長・事務局長会議中止

※書面開催

[埼大教育学部附属小]

## III 研究

研究テーマ

「きらめく感性 つくりだす喜び  
～未来をひらく授業づくり「深い学び」の探求～」

第62回埼玉県造形教育研究大会

(1) 趣旨

造形教育研究大会の「授業実践研究会」では、県美連の研究テーマ(大会テーマ)、及び、追究観点①～③を受け、各分科会の研究の視点にそって提案される各地区の授業実践研究の事例をもとに研究協議を行うことを通して、児童生徒理解を深め、育まれる力を検証するとともに、豊かな授業づくりのための理念や手立てを学び合い、広めることで図工



・美術教育の更なる充実を図る。

なお、これまでは2日間の日程で、1日目に「授業実践研究会」、2日目に「創造体験研修会」を実施していたが、今年度は1日の日程で「授業実践研究会」のみを実施する。

(2) 主催 埼玉県美術教育連盟

(3) 後援 埼玉県教育委員会  
さいたま市教育委員会

(4) 期日 令和2年8月4日(火)

(5) 会場 県民総合活動センター

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期。令和3年度に実施予定。

(2) 地区審査

県下10地区で地区審査が行われ、入選作品と特選作品が選出された。

(3) 中央審査

令和2年10月14日(水)所沢市生涯学習推進センターにおいて地区審査で選ばれた特選作品の中から埼玉県知事賞120点が選ばれた。

(4) 展覧会期・会場・表彰式

会期 令和2年12月26日(土)・12月27日(日)

会場 埼玉県立近代美術館

表彰式 11月14日(土)埼玉会館において知事賞作品は展示され表彰される。

#### IV 児童生徒美術展の開催

1 第62回身体障害者福祉のための美術展

(1) 主催 社会福祉法人身体障害者福祉協会

共催 埼玉県美術教育連盟

(2) 地区審査

県下10地区で地区審査が行われ、入選・特選作品が選ばれた。

なお、審査員の人員削減のため出品数は各学校の学級数とし、学年で1点の特選候補作品を審査会に出品した。

(3) 中央審査

令和2年9月23日(水)埼玉県浦和合同庁舎で地方審査特選作品750点の中から、特別賞68点が選ばれた。

(4) 展覧会期・会場

会期 令和2年10月31日(土)  
・11月1日(日)

会場 熊谷市スポーツ文化村くまびあ

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

2 第55回郷土を描く児童生徒美術展

(1) 主催 埼玉県

埼玉県校外教育協会

埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会

共催 さいたま市教育委員会

埼玉県市町村教育委員会連合会

埼玉県美術教育連盟

3 第61回埼玉県小・中学校児童生徒美術展

(1) 主催

埼玉県教育委員会 埼玉県美術教育連盟

さいたま市教育委員会

埼玉県市町村教育委員会連合会

(2) 展覧会期・会場

会期 1月下旬～2月上旬

会場 県下10地区10会場

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

4 第61回埼玉県小・中学校児童生徒美術展  
第13回中央展覧会

(1) 主催

埼玉県教育委員会 埼玉県美術教育連盟

さいたま市教育委員会

埼玉県市町村教育委員会連合会

(2) 展覧会期・会場

会期 令和3年2月13日(土)・2月14日(日)

会場 埼玉県立近代美術館

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(3) 地区審査

各学校から平面1立体1の特選作品を出品し、特に優れた作品を各地区で選考。

(全県で平面作品50点・立体作品50点)

## 埼玉県美術教育連盟の足跡を顧みて

1. 昭19年 美術教育研究会発足。
2. 昭22年 埼玉県美術教育連盟発足。  
初代連盟長に竹野谷仁重氏、副連盟長に町田源三郎氏就任。
3. 昭24年 埼玉県児童生徒写生コンクール19会場で実施。研究会を行う。
4. 昭25年 児童生徒美術展を教育委員会と共催（岩槻中）。連盟の規約決まる。
5. 昭26年 指導要領講習会。児童生徒美術展。
6. 昭27年 巡回展が県下8ブロックに分かれ開かれる。鑑賞評価の研究会（川越第三小）。
7. 昭30年 中学校研究協議会開催。研究指定校発表会。全国図工教育大会（東京）参加。個人研究発表会。
8. 昭31年 版画実技講習会を開く（埼大）。
9. 昭32年 研究発表会（埼大附小）。身体障害者福祉のための児童生徒美術展開催。
10. 昭33年 美術連盟10周年祝賀会。中学校美術振興対策（時間数各学年2時間の確保）。
11. 昭34年 第1回ゼミナールを長瀬大正亭旭家会場で実施〈図工教育振興のための問題〉。画用紙の研究。
12. 昭35年 第2回ゼミナール開催（大宮市立文化会館）〈絵画・版画・彫塑について〉。
13. 昭36年 第2代連盟長に町田源三郎氏就任。第3回ゼミナール開催（武蔵野荘）〈現場の実践をもとに討議する〉。デザイン工作研究部ができる。
14. 昭37年 第4回ゼミナール開催（熊谷西小）〈指導法を中心に話し合う〉。  
全国大会参加（富山）。美連研究指定校（深谷藤沢中）。
15. 昭38年 第1回造形工作指導者研修会（武蔵野荘）。第5回ゼミナール実施（野上青年の家）〈表現を高めるための指導〉。県・美連研究委嘱校発表（大宮東中）。
16. 昭39年 第6回ゼミナール実施（文化会館）〈図工教育の反省—今後のあり方について〉。
17. 昭40年 第7回ゼミナール実施（熊谷福祉センター）〈用具・資料・設備について〉。  
美術国際会議に代表参加（東京）。研究委嘱校発表会（蕨東中）。
18. 昭41年 第3代連盟長に斎藤誠氏就任。小・中学校の図工・美術科の基準を定める。  
第8回ゼミナール開催（大宮文化会館）。  
埼玉身連展（旧美術館）。郷土を描く美術展を新装埼玉会館で開催。全国大会参加（盛岡）。関プロ大会参加（千葉）。
19. 昭42年 第9回ゼミナール（加須青年の家）〈物の見方・感じ方を深め追求する態度を養う指導はどうしたらよいか〉。  
全国大会参加（新潟）。
20. 昭43年 第4代連盟長に新井邦雄氏就任。第10回埼玉県造形教育研究大会（武蔵野会館）〈指導上の問題点とその究明〉。全国大会参加（高知）。関プロ大会参加（茨城）。美連研究指定校発表会（杉戸中）。指導者研修会（加須青年の家）。
21. 昭44年 指導者研修会（岩槻青年の家）。全国大会参加（沖縄）。関プロ大会参加（高崎）。研究指定校発表会（古谷小）。第11回埼玉県大会を関プロのリハーサルをかねて開催（埼玉）。  
第4回郷土を描く美術展（川越市立月越小）。第11回身障者福祉のための美術展（戸田市東部福祉センター）。第10回県児童生徒美術展（県下9会場）。第32回全国（仙台市）・第19回関プロ（前橋市）への参加。
22. 昭45年 第10回関東甲信越静地区造形教育研究埼玉大会開催（浦和・大宮・川口市）。



- 第12回身障者福祉のための児童生徒美術展（熊谷市民ホール）。全国大会参加（秋田）。文部省・県美連委嘱校図画工作科研究発表会（喜沢小）。郷土を描く美術展（埼玉会館・熊谷市民ホール）。第11回県児童生徒美術展（県下8会場）。
23. 昭46年 深谷班小学校図画工作科研究中間発表会（明戸小）。小学校図画工作科実技研修会（県下10会場）。郷土を描く美術展（県下5会場）。深谷班小学校図画工作科研究発表会（深谷小・桜丘小・岡部小・豊里西小）。新座中学校美術科研究発表会。熊谷西小学校図画工作科研究発表会。第13回埼玉県造形教育研究大会（粕壁小・春日部中・埼玉会館）。第13回身障者福祉のための児童生徒美術展。埼玉県児童生徒美術展。第11回関プロ大会参加（静岡）。
24. 昭47年 第12回関プロ大会参加（甲府）。小中学校図画工作・美術科実技研修会（版画・工作・工芸）。埼玉の美術発行。第25回全国大会東京に参加。郷土を描く美術展開催。第14回埼玉県造形教育研究大会（深谷小・深谷中）。第14回障害者福祉のための美術展。第14回埼玉県児童生徒美術展開催。
25. 昭48年 創立25周年記念研究発表会・祝賀会（武蔵野会館）。図工・美術科実技研修会（デザイン・工作・工芸）。第13回関プロ大会参加（鎌倉）。第8回郷土を描く美術展。第15回身障者福祉のための美術展（加須）。研究委嘱校発表会（大原中・柳瀬中・和光三小）。第15回埼玉県造形教育研究大会（川越）。教材整備状況実態調査。美連ニュース発行（年2回）。第15回県児童生徒美術展。
26. 昭49年 教材実技研修会。第14回関プロ大会参加（松本）。全国大会参加（和歌山）。第16回身障者福祉のための美術展（松山一小）。第9回郷土を描く美術展。第16回埼玉県造形教育研究大会（草加小）。専門部開催（3回）。美連ニュース発行（2回）。第16回県児童生徒美術展。
27. 昭50年 教材実技研究会。第15回関プロ大会参加（宇都宮）。全国大会参加（山形市）。第17回身障者福祉のための美術展（桶川北小）。第10回郷土を描く美術展。第17回埼玉県造形教育研究大会（松山一小・市の川小・松山中）。第17回県児童生徒美術展。
28. 昭51年 第5代連盟長に須藤嘉彦氏就任。研究委嘱校発表（毛呂山川角小・戸田喜沢中・岩槻中）。全国・関プロ大会企画委員会。第18回埼玉県造形教育研究大会（羽生小・羽生中）。身障者福祉のための美術展。郷土を描く美術展。第18回全国大会準備会。
29. 昭52年 研究委嘱校発表会（戸田喜沢中・鴻巣中）。夏季実技講習会（県下16会場）。郷土を描く美術展。身障者福祉のための美術展。第19回県児童生徒美術展。第19回造形大会…全国・関プロ造形プレ大会（埼玉会館・浦和市民会館）。
30. 昭53年 第31回全国造形教育研究・第18回関プロ造形教育研究埼玉大会・第20回埼玉県造形教育研究大会（川口市民会館・埼玉会館ほか）開催。第13回郷土を描く美術展（埼玉会館）。第20回身障者福祉のための美術展（和光第三小）。第19回県児童生徒美術展（県下9会場）。
31. 昭54年 第6代連盟長に高山靖男氏就任。第21回埼玉県造形教育研究大会（杉戸町立杉戸小）。
32. 昭55年 第22回埼玉県造形教育研究大会（本庄市中央公民館）。第15回郷土を描く美術展（羽生市立西中）。第22回身障者福祉のための美術展（熊谷市立新堀小）。第21回県児童生徒美術展（県下9会場）。第33回全国（名古屋市）・第20回関プロ（沼津市）参加。
33. 昭56年 第23回埼玉県造形教育研究大会（皆野町いこいの村）。第16回郷土を描く美術展（大芦小）。第23回身障者福祉のための美術展（東松山市中央公民館）。第22回県児童生徒美術展（県下9会場）。第34回全国・第21回関プロ（長岡市）参加。
34. 昭57年 第24回埼玉県造形教育研究大会（深谷市厚生会館ほか）。第17回郷土を描く美術展（久喜小）。第24回身障者福祉のための美術展（羽生市立西中）。第23回県児童生徒美術展

- (県下9会場)。研究委嘱校発表(蓮田中央小)。第35回全国(武雄市)・第22回関プロ(甲府市)参加。
35. 昭58年 第25回埼玉県造形教育研究大会(飯能市中央公民館)。第18回郷土を描く美術展(戸田郷土博物館)。第25回身障者福祉のための美術展(北本南小)。第24回県児童生徒美術展(県下9会場)。第36回全国(東京都)・第23回関プロ(横浜市)参加。
36. 昭59年 第26回埼玉県造形教育研究大会(北本市文化センター)。第19回郷土を描く美術展(秩父市立南小)。第26回身障者福祉のための美術展(児玉小)。第25回県児童生徒美術展(県下9会場)。第37回全国・第24回関プロ(長野県上山田町)参加。
37. 昭60年 第27回埼玉県造形教育研究大会(東松山市中央公民館)。第20回郷土を描く美術展(寄居小)。第27回身障者福祉のための美術展(所沢小)。第26回県児童生徒美術展(県下9会場)。第38回全国(奈良町)・第25回関プロ(豊島区)参加。
38. 昭61年 第28回埼玉県造形教育研究大会(加須青年の家)。第21回郷土を描く美術展(東松山市立新明小)。第28回身障者福祉のための美術展(杉戸小)。第27回県児童生徒美術展(県下9会場)。研究委嘱校発表(川口在家中)。第39回全国(北海道旭川)・第26回関プロ(桐生市)参加。
39. 昭62年 第7代連盟長に橋本利夫氏就任。第29回埼玉県造形教育研究大会(川口市)。第22回郷土を描く美術展(本庄西小)。第29回身障者福祉のための美術展(秩父尾田蒔小)。第28回県児童生徒美術展(県下9会場)。研究委嘱校発表(浦和市立神田小)。第40回全国・第27回関プロ(千葉市)参加。
40. 昭63年 第30回埼玉県造形教育研究大会(久喜小)。第23回郷土を描く美術展(所沢明峰小)。第30回身障者福祉のための美術展(新座大正小)。研究委嘱校発表(羽生南小)。第29回県児童生徒美術展(県下9会場)。第41回全国(愛媛)・第28回関プロ(上越市)参加。
41. 平成元年 第31回埼玉県造形教育研究大会(本庄市中央公民館ほか)。第24回郷土を描く美術展(加須市市民福祉会館)。第31回身障者福祉のための美術展(深谷小)。第30回県児童生徒美術展(県下9会場)。研究委嘱校発表(上尾西中)。第42回全国(青森)・第29回関プロ(浜松市)参加。
42. 平成2年 第8代連盟長に岡安正治氏就任。研究テーマ「感性を高め創造する力を育む造形教育」のもと、第32回埼玉県造形教育研究大会を第31回関プロ埼玉大会のプレ大会として開催(浦和市文化センターほか)。第25回郷土を描く美術展(上尾コミュニティーセンター)。第32回身障者福祉のための美術展(東松山市立松山第一小)。第31回県児童生徒美術展(県下9会場)。研究委嘱校発表(久喜青葉小)。第43回全国(熊本)・第30回関プロ(水戸市)参加。
43. 平成3年 第31回関東甲信越静地区造形教育研究大会埼玉大会・第33回埼玉県造形教育研究大会を浦和市文化センターを中心として開催。同時に研究委嘱校(浦和田島中・浦和大牧小)発表。第26回郷土を描く美術展(久喜小)。第33回身障者福祉のための美術展。第32回県児童生徒美術展(県下9会場)。第44回全国(東京都)参加。  
4 専門部のうち庶務部を事務局に吸収し、研究部・編集部・事業部の3専門部体制とする。
44. 平成4年 第34回埼玉県造形教育研究大会秩父大会(秩父影森小・中)。第27回郷土を描く美術展(朝霞コミュニティーセンター)。第34回身障者福祉のための美術展(JACK大宮)。第33回県児童生徒美術展(県下9会場)。研究委嘱校発表(大宮馬宮東小)。第45回全国(京都)・第32回関プロ(山梨)参加。
45. 平成5年 第9代連盟長に中村善之助氏就任。第35回埼玉県造形教育研究大会大里大会(深谷小



- ・深谷幡羅中ほか)。第28回郷土を描く美術展(秩父西小)。第35回身障者福祉のための美術展(本庄東小)。研究委嘱校発表(所沢中央中)。第34回県児童生徒美術展(県下9会場)。第46回全国(沖縄那覇市)・第33回関プロ(栃木)参加。新研究テーマ検討。
46. 平成6年 第10代連盟長に内田敬氏就任。研究テーマ「子どもの思いや願いが生きる授業を求めて」のもと、第36回埼玉県造形教育研究大会入間地区大会(所沢市文化センターほか)開催。第36回身障者福祉のための美術展(春日部上沖小)。第29回郷土を描く美術展(熊谷石原小)。研究委嘱校発表(蓮田黒浜北小)。第35回県児童生徒美術展(県下9会場)。第47回全国・第34回関プロ神奈川大会(横浜市)参加。
47. 平成7年 第37回埼玉県造形教育研究大会北足立北部大会(上尾市福祉会館、上尾芝川小、上尾南中)開催。第37回身障者福祉のための美術展(坂戸中央公民館)。第30回郷土を描く美術展(小川町立小川小)。研究委嘱校発表(東松山桜山小)。第36回県児童生徒美術展(県下9会場)。第48回全国・第35回関プロ長野大会(飯田市ほか)参加。
48. 平成8年 第11代連盟長に山屋敬典氏就任。第38回埼玉県造形美術研究大会比企大会(東松山市立南活動センター)開催。第38回身障者福祉のための美術展(秩父西小)。第31回郷土を描く美術展(本庄中央小)。研究委嘱校発表(東松山桜山小)。第37回県児童生徒美術展(県下9会場)。第49回全国・第36回関プロ東京大会(中野区ほか)参加。教材開発研修会開催。
49. 平成9年 第39回埼玉県造形教育研究大会北埼玉大会(加須大桑小学校、加須東中学校、加須平成中学校)開催。第39回身障者福祉のための美術展(浦和市立プラザイースト)。第32回郷土を描く美術展(入間市博物館アリット)。研究委嘱校発表(浦和大門小)。第38回埼玉県児童生徒美術展(県下9会場)。第37回関プロ群馬大会(前橋市ほか)参加。教材開発研修会開催(埼玉県立近代美術館)。
50. 平成10年 第40回埼玉県造形教育研究大会埼玉大会(岩槻市立岩槻小学校)開催。第40回身障者福祉のための美術展(熊谷文化創造館)。第33回郷土を描く美術展(行田グリーンアリーナ)。第39回県児童生徒美術展(県下9会場)。第38回関プロ千葉大会参加。教材開発研修会開催(埼玉県立近代美術館ほか)。
51. 平成11年 第12代連盟長に五井修氏就任。第41回埼玉県造形教育研究大会を第52回全国造形教育研究大会・第39回関東甲信越静地区造形教育研究大会をかね、浦和市・大宮市を会場に開催。  
第41回身障者福祉のための美術展(東松山市南地区体育館)。第34回郷土を描く美術展(上尾市市民体育館)。第40回県児童生徒美術展(県下9会場)。
52. 平成12年 第13代連盟長に馬場恒安氏就任。第42回埼玉県造形教育研究大会Ⅰ(教材開発・埼玉県立近代美術館)開催。第42回身障者福祉のための美術展(羽生市民プラザ)。第42回埼玉県造形教育研究大会Ⅱ(本庄中央公民館・市民文化会館)開催。第35回郷土を描く美術展(杉戸町立杉戸小学校)。第41回県児童生徒美術展(県下9会場)。
53. 平成13年 第14代連盟長に三澤文人氏就任。第43回埼玉県造形教育研究大会Ⅰ(教材開発・羽生市民プラザ)開催。第43回身障者福祉のための美術展(川口リリア)。第43回埼玉県造形教育研究大会Ⅱ(さいたま市立高砂小・うらわ美術館・さいたま市市民会館うらわ)開催。第36回郷土を描く美術展(さいたま市立桜木小)。第42回県児童生徒美術展(県下10会場)。
54. 平成14年 第44回埼玉県造形教育研究大会Ⅰ(教材開発・横瀬町町民会館)開催。第44回身障者福祉のための美術展(杉戸町立杉戸小学校)。第44回埼玉県造形教育研究大会Ⅱ(狭山市立入間川東小学校・狭山市立市民会館)開催。第37回郷土を描く美術展(深谷市

- 立上柴公民館)。第43回県児童生徒美術展 (県下10会場)。
55. 平成15年 第15代連盟長に松本晃氏就任。第45回埼玉県造形教育研究大会Ⅰ (教材開発・本庄市立旭小学校) 開催。第45回身障者福祉のための美術展 (上尾市立鴨川小学校)。第45回埼玉県造形教育研究大会Ⅰ (熊谷市立大幡小学校) 開催。第38回郷土を描く美術展 (羽生コミュニティセンター)。第44回県児童生徒美術展 (県下10会場)。
56. 平成16年 第16代連盟長に野澤優氏就任。第46回埼玉県造形教育研究大会Ⅰ (教材開発・羽生市民プラザ) 開催。第46回身障者福祉のための美術展 (狭山市立柏原小学校・中学校)。第46回埼玉県造形教育研究大会Ⅱ (春日部市立宮川小学校・豊春中学校) 開催。第39回郷土を描く美術展 (さいたま市文化センター)。第45回県児童生徒美術展 (県下10会場)。
57. 平成17年 第47回埼玉県造形教育研究大会Ⅰ (教材開発・上尾市文化センター) 開催。第47回身障者福祉のための美術展 (上里町立上里東小学校)。第47回埼玉県造形教育研究大会Ⅱ (川口市立十二月田小・中学校)。第40回郷土を描く美術展 (秩父市吉田取方総合運動公園体育館)。第46回県児童生徒美術展 (県下10会場)。
58. 平成18年 第17代連盟長に茅野憲一氏就任。第48回埼玉県造形教育研究大会Ⅰ (教材開発・川越市やまぶき会館) 開催。第48回身障者福祉のための美術展 (羽生市羽生市民プラザ)。第48回埼玉県造形教育大会Ⅱ (東松山市立松山第一小・松山中)。第41回郷土を描く美術展 (熊谷市彩の国くまがやドーム)。第47回県児童生徒美術展 (県下10会場)。
59. 平成19年 埼玉県美術教育連盟発足60周年。第49回埼玉県造形教育研究大会Ⅰ (教材開発・深谷市民文化会館・深谷小学校) 開催。第49回身障者福祉のための美術展 (さいたま市うらわ美術館)。第49回埼玉県造形教育研究大会Ⅱ (本庄市立本庄南中学校・北泉小学校)。第42回郷土を描く美術展 (久喜市立久喜小学校)。第48回県児童生徒美術展 (県下10会場)。埼玉県児童生徒美術展中央展開催。(埼玉県立近代美術館・平面のみ展示。翌年より立体も含め第1回展として開催)。60周年記念会報発行。
60. 平成20年 第18代連盟長に石田拓喜氏就任。第50回埼玉県造形教育研究大会Ⅰ (教材開発・八潮市メセナ) 開催。第50回身障者福祉のための美術展 (戸田市文化会館)。第50回埼玉県造形教育研究大会Ⅱ (加須市立加須小学校・加須平成中学校)。第43回郷土を描く美術展 (さいたま市文化センター)。第49回県児童生徒美術展 (県下10会場)。第1回埼玉県児童生徒美術展中央展開催 (埼玉県立近代美術館)。
61. 平成21年 第51回埼玉県造形教育研究大会Ⅰ (教材開発・さいたま市市民会館うらわ・本太小学校) 開催。第51回身障者福祉のための美術展 (東松山市民体育館)。第51回埼玉県造形教育研究大会Ⅱ (さいたま市立植竹中学校・大砂土小学校)。第44回郷土を描く美術展 (鴻巣市立鴻巣中央小学校)。第50回県児童生徒美術展 (県下10会場)。第2回埼玉県児童生徒美術展中央展開催 (埼玉県立近代美術館)。
62. 平成22年 第19代連盟長に笠原秀夫氏就任。第52回埼玉県造形教育研究大会Ⅰ (教材開発・戸田市立芦原小学校) 開催。第52回身障者福祉のための美術展 (熊谷市彩の国くまがやドーム)。第52回埼玉県造形教育研究大会Ⅱ (鴻巣市立大芦小学校)。第45回郷土を描く美術展 (杉戸町立杉戸小学校)。第51回県児童生徒美術展 (県下10会場)。第3回埼玉県児童生徒美術展中央展開催 (埼玉県立近代美術館)。
63. 平成23年 第53回埼玉県造形教育大会Ⅰ (教材開発・熊谷市立妻沼中央公民館、熊谷市立妻沼東中学校) 開催。第53回身体障害者福祉のための美術展 (羽生市民プラザ)。第53回埼玉県造形教育研究大会Ⅱ (秩父市立南小学校、秩父市立秩父第二中学校)。第46回郷土を描く美術展 (吉見町民体育館)。第52回県児童生徒美術展 (県下10会場)。第4回埼玉県児童生徒美術展中央展開催 (埼玉県立近代美術館)。



64. 平成24年 第20代連盟長に村上博俊氏就任。第52回関東甲信越静地区造形教育研究大会・第54回埼玉県造形教育研究大会（所沢市所沢市民文化センターミュージズ他）開催。第54回身体障害者福祉のための児童生徒美術展（さいたま市文化センター）。第47回郷土を描く美術展（秩父市吉田取方総合運動公園体育館）。第53回県児童生徒美術展（県下10会場）。第5回県児童生徒美術展中央展（埼玉県立近代美術館）。
65. 平成25年 第55回埼玉県造形教育大会Ⅰ（教材開発・行田市教育文化センター「みらい」）開催。第55回身体障害者福祉のための児童生徒美術展（上尾市立富士見小学校）開催。第55回埼玉県造形教育大会Ⅱ（春日部市立八木崎小学校、春日部中学校）。第48回郷土を描く美術展（プラザノース ノースギャラリー）。第54回県児童生徒美術展（県下10会場）。第6回県児童生徒美術展中央展（うらわ美術館）。
66. 平成26年 第21代連盟長に矢嶋廣明氏就任。第56回埼玉県造形教育大会Ⅰ（教材開発・埼玉大学教育学部附属小学校）開催。第56回身体障害者福祉のための児童生徒美術展（本庄市立本庄東小学校）。第56回埼玉県造形大会Ⅱ（さいたま市立浦和大里小学校）。第49回郷土を描く美術展（川口市立本町小学校）。第55回県児童生徒美術展（県下10会場）。第7回児童生徒美術展中央展（川越市立美術館）。
67. 平成27年 第57回埼玉県造形教育大会（戸田市立芦原小）開催（本年度より大会Ⅰ・Ⅱを一本化）。第57回身体障害者福祉のための児童生徒美術展（県障害者交流センター）。第50回郷土を描く美術展（熊谷市スポーツ文化村 くまびあ体育館）。第56回県児童生徒美術展（県下10会場）。第8回児童生徒美術展中央展（埼玉県立近代美術館）。
68. 平成28年 第22代連盟長に関根隆之氏就任。第58回埼玉県造形教育大会（深谷市上柴公民館）開催。第58回身体障害者福祉のための児童生徒美術展（蓮田市立平野小学校）。第51回郷土を描く美術展（坂戸市総合運動公園小体育館）。第57回県児童生徒美術展（県下10会場）。第9回児童生徒美術展中央展（埼玉県立近代美術館）。
69. 平成29年 第59回埼玉県造形教育研究大会（東松山市高坂小学校）開催。第59回身体障害者福祉のための児童生徒美術展（戸田市文化会館）。第52回郷土を描く美術展（行田市総合体育館：行田グリーンアリーナ）。第58回県児童生徒美術展（県下10会場）。第10回児童生徒美術展中央展（埼玉県立近代美術館）。
70. 平成30年 第23代連盟長に加藤修氏就任。第60回埼玉県造形教育研究大会（蓮田市総合文化会館ハストピア及び蓮田市総合市民体育館パルシー）開催。第60回身体障害者福祉のための児童生徒美術展（さいたま市プラザノース）。第53回郷土を描く美術展（県民活動総合センター）。第59回県児童生徒美術展（県下10会場）。第11回児童生徒美術展中央展（埼玉県立近代美術館）。
71. 平成31年 第24代連盟長に中川昇次氏就任。第61回埼玉県造形教育研究大会（埼玉大学教育学部附属小学校）開催。第61回身体障害者福祉のための児童生徒美術展（東松山市南地区体育館）。第54回郷土を描く美術展（本庄市立本庄東小学校）。第60回県児童生徒美術展（県下10会場）。第12回児童生徒美術展中央展（埼玉県立近代美術館）。
72. 令和2年 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため埼玉県造形教育研究大会は次年度に延期。身体障害者福祉のための児童生徒美術展は中止、県児童生徒美術展（県下10会場）及び中央展も中止。各地区審査会、中央審査会及び中央展審査会は実施。第55回郷土を描く美術展（埼玉県立近代美術館）は開催。

